

「夢をかなえるゾウ」の

水野敬也初の本格恋愛小説

『運命の恋をかなえるスタンダード』発売

水野作品の真骨頂!

笑いあり、感動あり、学びあり…そして涙と衝撃のラストへ!

恋は甘い花のようなものだ。

しかしその花を摘むには、
恐ろしい断崖絶壁の縁まで行かねばならない。

(恋愛論第41章より)

現代社会の恋愛問題を
不朽のメソッドで解決する1冊

<あらすじ>

図書館司書万平聡子は幼少期に父が起こした遺跡ねつ造事件がトラウマとなり、自分の素性がバレることに恐怖を抱きながら暮らしてきた。そのためうまく人間関係を構築することができず、三十路を越えても現実の恋愛に一步踏み出すことができないまま。そんなある日、聡子の前に理想のタイプである「レ・ミゼラブルのマリウス」にそっくりな男性が現れる。いつも通り行動に移せないでいる聡子だったが、本の中からフランスの文豪スタンダードを名乗る初老の男性が現れ、恋愛指南を始める。運命の恋をかなえるため、少しずつ自分の殻を破り始めた聡子の身に次々と奇跡が起きていく。



ISBN — 978-4-86651-015-6

定価 — 本体 1,450円+税

判型 — 四六判 356ページ

文豪スタンダードの名著「恋愛論」のノウハウを現代に超訳。

- ★自分を最高に輝かせる『結晶作用』
- ★好きな男の前で緊張せずに話す方法
- ★男を虜にする『悪女の振る舞い』
- ★男から長く愛される「伴侶」になるコツ…etc

愛の国フランスの
恋愛エッセンスが
自然と学べます。

現代社会の恋愛において一番の問題は「人を好きになれない」
「一歩踏み出す勇気がない」ことだと気づきました。
水野敬也

著者コメント

拙著『スパルタ婚活塾』が2016年にテレビドラマ『私、結婚できないんじゃないんです』の原案になり、自分としては「恋愛本」でできることはすべてやり切ったと考えていました。しかし、この完成度の高いドラマを見終えたとき、『スパルタ婚活塾』で描ききれていなかった要素を発見しました。それは、「恋をして胸がときめくことの素晴らしさ」です。

『スパルタ婚活塾』は、現在すでに恋愛中であり、恋愛に悩んでいる人たちに向けて書かれています。しかし、現代社会の恋愛において本当に悩ましいことは、その前の段階「人を好きになれない」「恋に一歩踏み出す勇気がない」ということだと気づいたのです。そこで「なぜ、人は人を好きになるのか」というテーマを軸に、主人公が恋愛をしていく過程の中でノウハウが登場する形こそが、現代社会の恋愛問題を解決する上で最も重要なことだと感じました。

素晴らしい企画というのは、書いている間に色々なアイデアやテーマを飲み込み勝手に大きくなっていくものですが、『運命の恋をかなえるスタンダード』はこれまで書いてきた中でも最も大きく育った企画だと感じています。

水野 敬也 (みずのけいや)

1976年、愛知県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒。処女作「ウケる技術」がベストセラーに。『夢をかなえるゾウ』シリーズは累計320万部突破。『人生はニャンとかなる!』シリーズは累計200万部を突破している。他の著書に、『顔二モマケズ』『偉人たちの名言に田辺画伯が絵を描いた』『神様に一番近い動物』『たった一通の手紙が、人生を変える』『雨の日も、晴れ男』『四つ話のクローバー』『大金星』など。また、鉄拳との共著『それでも僕は夢を見る』『あなたの物語』『もしも悩みがなかったら』ほか、恋愛体育教師・水野愛也として『LOVE理論』『スパルタ婚活塾』、DVD作品『濃厚な上司の怒らせ方』の企画・脚本、映画『イン・ザ・ヒーロー』の脚本を手掛けるなど活動は多岐にわたる。

公式ブログ「ウケる日記」

<http://ameblo.jp/mizunokeiya/>

Twitter アカウント @mizunokeiya